



寄り添い つながり 共に歩む

キングス・ガーデン東京ニュース

その砂漠を主の園のようにする。そこには楽しみと喜び、感謝と歌声とがある。



これからもご利用者の笑顔を沢山引き出せるようなチームケアに取り組んでいきます。

東中野キングス・ガーデン グループホーム

人と寄り添い、人とつながり、人と歩む ～ 地域共生の拠点～

社会福祉法人キングス・ガーデン東京 理事長 片山 信彦

この度、私は中島秀一理事長の後任として理事長に就任することになりました。初代理事長の泉田昭先生や中島秀一理事長の熱い思いとそのお働きに敬意を表すと共に、それに倣いつつ私もその職責を果たすべく、誠実に働きを進める多くのスタッフと力を合わせて、この大切な働きに誠心誠意向き合ってまいりたいと思います。

昨年キングス・ガーデン東京はブランド力を上げるための取り組みを開始いたしました。

その中で、「寄り添い、つながり、共に歩む」をブランディング・メッセージとし、キングス・ガーデン東京が、寄り添い、つながって、共に歩む、

地域共生の拠点となることを目指すことにしました。

そのためには、キリスト教の愛の精神をもって利用者様を第一とし、地域とのつながりを大切にしながら、誰もが尊く価値ある存在であり、お一人おひとりを大切にする組織になることを目指したいと思います。

先人から受け継がれている使命感と情熱をもってこれからもキングス・ガーデン東京が「夕暮れ時に光がある」場所となれるように励みますので、今後とも何卒よろしくお願いいたします。

~Message~ 「高齢者と子ども」

私は練馬キングス・ガーデンで「心の時間」が毎日持たれるようになった頃からメッセージを語らせていただいております。そのなかで私自身もいろいろと学ばせていただきました。たとえば、最初は紙芝居を持って行ったりギターを持って行ったり試行錯誤をしてきたわけですが、ほとんどの入所者の方々が目や耳が弱くなっているわけですから、紙芝居を持って行ってもあまり意味がないとわかりました。それで、なるべく大きな声ではっきりとしゃべることと、強調したいことを一つだけに絞ってポイントがズレないようにすることなどを心がけています。

ところで、私が牧会している教会では土曜日に未信者の子どもたちへの伝道をしていて、現在数名の子どもたちが毎週来ています。子どもたちと接していると思うことは、キリストがおこなった奇跡や復活を語った時にも、その事実が子どもたちの心の中に素直に入っていくと感じています。たとえ親がクリスチャンでなくても、小学生の4年生ぐらいまでは神の全能や万物の創造などがわりとすんなりと心に入っていくような気がしています。

「人が年をとると子ども返りすることがある」と言われます。理性で自制している機能が弱くなって子どものようにわがままを言ったり、ささいなことで喧嘩をすることなどを意味する言葉だと思います。しかし、そのようなマイナスなことだけではなく、変に理屈っぽいところがなくなるような人もいます。私の知り合いの人で、高齢になつてすこし認知症的な症状が出てきましたが、一方的にしゃべるような傾向が抑えられておとなしくなった人がいます。高齢になればなるほど理解力も弱くなりますから、神様のことを語った時にすべてを理解することは難しい

大泉聖書教会牧師

池田尚広
(当法人協力牧師)



かもしれませんが、語ったことが素直に心に入る傾向も出てくるがあると思っています。キングス・ガーデンに入所されている方々もいろいろなタイプの人がいるように思いますが、反発心や批判力が抑えられて、神様の恵みについて理解できることが心に届いていると信じて奉仕させていただいています。

また、子どもが理性で人の言葉を判断しているのではなく感覚的に判断しているように、高齢者の中で理性的部分が弱くなった人は感覚的に人を判断するようになると思います。つまり、そのような人は目のまえの人が優しい人なのか怖い人なのか、親切な人なのかそうでないのか、信頼できる人なのか危険な人なのかを感覚で判断しながら生活しているのではないのでしょうか。キングス・ガーデンで毎日お仕事をされている方々は、そのような人たちを前に本当に大変な働きをしておられると思います。私は月一回短い時間そこにいるのですが、感覚を通して自分の言葉は判断されていると思いつつながら語らせていただいています。感覚で判断される場合、なるべく明るく元気な言葉で、しかもわかりやすく丁寧に語る必要があると思いますが、私たちはみんな神様のまえに大事な存在なんだということを前提として、父なる神様と神の御子イエス様の救いと恵みを語っていきたくと思っています。

練馬キングス・ガーデン

～最期まで自分らしく、ありのまま～



「梅の実収穫」

職員が木に登り「下で受け取るから、どんどん落として良いわよ」と楽しく会話しながらの収穫となりました。

「青い梅の実を食べちゃいかんよ!!」とアドバイスも頂きながら、約 5、5kg の梅の実が収穫できました。

【デイサービス】



「フリフリグッパ体操」

フリフリグッパとは、音楽に合わせて脳や身体を動かす脳フィットネス体操のこと。認知症予防推進員の会「居場所づくりグループ」の方々に講師に、氷川台地域にお住まいの方などにお声かけし、ケアカフェ事業の一環として4月からスタートしました（2ヶ月に1回予定）。

次回は8月21日（水）14:30-15:45、氷川台地区区民館（氷川台 2-16-14）。近隣の方も少し離れたところの方も、皆様と一緒に楽しく身体を動かしませんか？【地域包括支援センター】

「出前！大好物のチカラ！」

先日、出前をとりました。以前より召し上がる量が少なくなってきた中、今後の生活・時間を考え、ご自分のお好きな物を召し上がって頂こうと、お寿司のチラシをお見せすると「これが食べたいねえ」と・・・。食べやすい大きさにカットし、お出しすると、ペロリと6貫を完食！

食に対する、意欲・大好物のチカラ！そして召し上がられている時の良い表情。改めて、好きな物を食べることの楽しさ・大切さを考えさせられ、職員も驚きとともに、嬉しさを一緒に味わわせて頂きました。【特別養護老人ホーム】



「ベンチが綺麗に生まれ変わりました！」

塗装がはがれ、色あせていたベンチが綺麗に生まれ変わりました！「(株)光が丘美装」の職人の皆さんがボランティアとして塗装して下さいました。

細部までとても丁寧に仕上げてください、職人技の素晴らしさを感じます。ご協力下さった皆様に感謝いたします。【中庭エデン】



東中野キングス・ガーデン

～ありのままの自分でいられる場所～

小規模多機能とは

要介護状態になっても、その方の状況に合わせて柔軟に対応し、自宅での暮らしを続けていきたいという願いを叶える事ができるのが小規模多機能居宅介護です。

しかし、「何でもやらなくちゃいけないなんて職員は大変じゃない?」と言われることがよくあります。

大変なことももちろんありますが、私たちの経験を活かしたケアにより生活を続けることができる方がおられる、また、そのご家族の支援にも繋がっている。そのような実感がやりがいにつながっています。ぜひ、このような魅力的な事業で一緒に働いていきたいという職員を募集しております。

天ぷら



良い色に揚がっています。

コロッケ



みんなで昼食のコロッケづくり

お茶



運営推進会議にいられた方にお茶でおもてなし

裁縫



裁縫は得意です！

練馬の丘キングス・ガーデン

つながる丘～今までとこれからは、出会いに、希望に～



○ユニット型特養

当施設には6つの委員会があり、その中にレクリエーション委員会というものがあります。今回はレクリエーション委員会の企画により、昼食をバイキング形式でお出しするという試みをしました。

ショートステイのご利用者も含めると100名超の方がおられますので、ユニット毎に3日に分けて行いました。ユニットを離れ、1階でお食事をお出しすること自体も初めてでしたし、入居者の皆様にも「お代わり自由」は新鮮だったかもしれません。初めてのことで大変なこともありました。ご入居者、ご家族、職員共に楽しい時間を過ごしました。

○従来型特養

5月のイベントとして運動会を行いました。西町2-1のリビングを活用し紅組・白組に分かれて戦いました。競技は風船・パン食い・あめ食いリレー・借り物競争・玉入れの5種目を行いました。ご入居者だけでなく職員も一緒に参加することで笑いも多く生まれ、にぎやかな運動会になりました。

その他にも運動会らしい装飾やBGMを流すことでより一層盛り上がっていたように感じました。初めての試みで不安もあったのですが、皆さま積極的に参加され楽しまれた様子でした。



○ショートステイ

新入職員研修期間中にショートステイのご利用者と一緒に短い時間で仲を深めるため、桜を見に近くの石神井川沿い、練馬総合グラウンドの方まで歩いていきました。この日は桜が満開でも見ごろの時期でした。桜を見たご利用者は「とてもキレイね～」と笑顔でおっしゃっていました。帰った後も、多少の疲れは見えたものの、嬉しそうに見た桜についてご利用者同士でお話をしていたので良かったなと思いました。

ショートステイに配属されてまだ1ヶ月。ご利用者とのように深く関わっていけるか、今後の課題だと感じたので先輩職員を見て、頑張っていきたいです。

○デイサービス

目標は、「平成つつじ公園」までの700m×2の道のりを歩く！

その為に、体操、室内散歩から始まり、屋上散歩、近所の公園や総合運動場までと徐々に距離を伸ばし、おしゃべりとジュースと休憩は欠かせず楽しみながらトレーニングをしてきました。そして、ついに目標達成！この日は満開のつつじを楽しみ「ただいま～」と笑顔で帰園。いつも感じるのは外散歩から戻られたときの表情がキラキラされている事。その理由をお聞きすると「みなさんと一緒に行けた事が嬉しいのよ」「私たちはいつもキラキラしてんの」「外は気持ちいい」からだそうです。これからも、ご利用者さまお一人おひとりが輝ける場・できる場が増えるお手伝いをしていきたいと思います。



～ community station ～ 地域と共に

キングス・ガーデン東京では「地域に支えられ、地域に仕える」の理念のもと、「住み慣れた地域」で自分らしい生活が継続出来るよう、地域の皆様との交流を大切に、共に生きる地域づくりに取り組んでいます。

練馬の丘「きんぐす食堂」

【練馬の丘キングス・ガーデン】5月24日（金）午後

先日、第3回目の食堂が行われ約17名の地域の方、子どもたちが参加されました。開始当初、きんぐす食堂は地域の子どもたちを対象とした『子ども食堂』としてオープンしたのですが、高齢者の方にもニーズがあるならと、近隣の地域包括支援センターへも声をかけさせて頂き、お一人暮らしの高齢者や、近隣に住まわれている高齢者ご夫婦など地域に住んでいらっしゃる高齢者の方も足を運んでくださるようになりました。また子ども達は前回参加してくれた子が友達に宣伝してくれた事もあり、回数を重ねるごとに子どもの参加人数が増え、子ども達の雰囲気を見ると、きんぐす食堂が彼らにとって勝手知ったる場所になっている印象を受けました。

地域の方々に向けた取り組みですが、当施設の入居者が盛り付けを手伝い、子ども達と笑顔で関わっている姿や、ご家族と夕食を共に食べている姿が見られるのは高齢者施設が行っている特色かもしれません。

社会福祉法人が運営している高齢者施設の地域貢献活動としての役割がきんぐす食堂にはあります。施設や既存の設備などの資源を活用し、高齢者・障がい者・子どもなど地域住民にとっての地域の拠点の一つとなり、コミュニティカフェのような場所に自然となっていくのかもしれません。



2019年度 キングス・ガーデン東京 辞令交付式

【練馬の丘キングス・ガーデン】4月1日（月）午後

4月1日（月）17:15 から練馬の丘キングス・ガーデンで、今年度の辞令交付式を行いました。4名の新卒採用職員を含む3施設合同で85名ほどの職員が参加し、「寄り添いつながり共に歩む」を合言葉に新年度のよいスタートの時となりました。「より広く地域とつながり愛を伝える」（＝理念の拡大と進展）を目指します。

前半は法人の理念に関する園内研修、今年度の事業計画のポイント確認を経て、辞令交付や表彰等を行いました。途中ティータイムの交わりを挟み、後半は自らの部署の魅力をアピールする3施設チーム対抗のプレゼン大会を行い、とても和やかな雰囲気の中で閉会となりました。この

5年間で施設が3つとなり、法人全体の職員数も200名を超えています。職種・職務内容・勤務時間帯等が異なる職員の一体感を少しでも確かなものにしていく為には、このような場はとても大切です。

高い理念を掲げていても、人の為す業ゆえに現実的にはたくさん問題・課題があります。しかし、「問題があることが問題ではなく、問題をどう解決するかが問題である」という初代理事長の言葉を思い起こします。多種多様な職員がいるからこそ、『人は誰でも宝』の組織なのであり、多様性の中での一致が大きな力を生み出すことを信じて、今年度の各事業を進めています。



～ voice ～
サポーターの皆様より

多くのサポーターの方（ボランティア、地域の方、利用者ご家族など）が支援してくださっています。今回はボランティア、ご家族の声を紹介いたします。

ボランティアの紹介 「地域応援隊だんだん」の皆様【練馬キングス・ガーデン】

昨年からは練馬キングス・ガーデンのデイサービスでボランティアをされています。10名程のメンバーで、ギターやハンドベルの演奏にのせて童謡や懐かしの歌をご利用者と一緒に歌ったり、踊りや紙芝居の披露、体操等、賑やかでバラエティに富んだプログラムを展開して下さっています。

メンバーの皆様は「地域の為に何でもお手伝いしたい」という思いから、練馬区のデイサービスや様々なイベントで活動されています。「だんだん」という名前の由来は、一人一人が団結することの「だん」と、地域の人々を気にかけることから生まれる暖かさの「だん」。「だんだん広がる、つながる」という意味も込められています。

何よりもご利用者が楽しめることを第一として下さっている皆様。活動の中で喜びを感じられるのは、ご利用者が笑顔でよく歌われる姿を見られること。また、ご利用者の中には前回の来園を覚えていて下さった方がおられたとか。

ご利用者の方から「また来てくれてありがとう」と声を掛けて下さるのは、ボランティアの方

にとってとても嬉しく、やりがいを感じる瞬間と言えるでしょう。地域の様々な方が集い、共に笑い、幸せなひと時を過ごせるような交流の場として、練馬キングス・ガーデンが広く用いられていくことを願っております。



「日々の一枚」【練馬の丘キングス・ガーデン】

5月の晴れた日、屋上庭園の命名記念パーティーを行いました。公募のうえ決定したのは、「Queen's Garden」。このお写真はその時の一枚です。長年連れ添ってきたお二人だけが醸し出せる空気に満ちた、幸せな一枚ではないでしょうか。

私たちが日々のケアやサービスとして提供できるものには、正直限度があります。なんでも、どこまでも、という訳にはいかないのが事実です。私たち自身、そのことがもどかしく感じることもありますし、時にはご家族から厳しいお言葉を頂戴することもあります。

そのような中で私たちが忘れてはならないと思うのは、皆様が何十年と積み重ねてきた人生のなかで、ここに生活の場を移されてからも、皆様の人生は今も継続しているということ。何ものとも分断されることなく、一人の生活者としてここで暮らしておられるという視点です。その人生の幸せな時間も、大変な時期も、ご家族と共に乗り越えて育んできて、それは今も継続しているということです。当たり前のことではありますが、それを当たり前のことと思える生活が実現できるように、日々努めてまいりたいと思っています。



インフォメーション

事業の健全な維持運営のために 寄附をお願いします

キングス・ガーデン東京は多くの個人・企業、団体からの温かいご寄附によって健全な維持運営を行ってまいりました。ご寄附は社会福祉事業に対する寄附として税制上の優遇＝寄付金控除を受けとることができます。ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。



Contribution Volunteer

ボランティアとして加わってください

キングス・ガーデン東京は人と人ががじかに触れ合うことで暮らす楽しさが倍加していく場。ボランティアの方々にその働きの多くの部分を担っていただいています。お話し相手(傾聴)やゲームのお相手(トランプ、麻雀、囲碁将棋など)、本の読み聞かせ、お庭の草取りなどに、皆様のお力を貸していただければ幸いです。



パンフレット リニューアル

これまでなかった法人のパンフレット、このたびブランドメッセージ、各施設パンフレットの刷新に合わせて完成しました。ご希望の方に差し上げます。



今秋、シンポジウム 開催決定！

11月10日(日) 予定
「認知症」を地域で生きる。」をテーマに、練馬の丘キングス・ガーデンにて、VR認知症体験など。

キングス・ガーデン東京は練馬～中野エリアに3つの施設を展開しています



練馬キングス・ガーデン (since 1996)

徹底した「個別ケアへの取り組み」が評価され、練馬区からの委託事業として地域包括支援センターも併設されるなど、地域福祉の一翼を担っています。

〒179-0085 東京都練馬区早宮2-10-22
Tel.03-5399-2201 (代表)
Fax.03-5399-5220
地下鉄東京メトロ有楽町線・副都心線「平和台駅」徒歩5分



東中野キングス・ガーデン (since 2015)

シェアハウス(グループホーム)、ライフサポート(小規模多機能型居宅介護)、地域交流スペース(キングスカフェ)の3つの働きで中野という地域のコミュニティ・ステーションになっています。

〒164-0003 東京都中野区東中野4-2-16
Tel.03-3368-5202
Fax.03-3368-5204
JR中央線・総武線、都営地下鉄大江戸線「東中野駅」徒歩3分



練馬の丘キングス・ガーデン (since 2017)

エントランス前に広がるスペースや1階の地域交流室を使って、地域の活動に利用しています。従来型とユニット型の双方を取り入れたケアを実施しています。

〒176-0001 東京都練馬区練馬2-27-7
Tel.03-6629-4599 (代表)
Fax.03-6629-5412
都営地下鉄大江戸線、西武池袋線「豊島園駅」徒歩3分

社会福祉法人 キングス・ガーデン東京 URL <http://www.kg-tokyo.or.jp>

お問い合わせ：Tel.03-5399-2201 (法人事務局)

※詳細は各施設ごとのパンフレットまたはHPをご覧ください。

編集後記：今号では、リニューアルしたパンフレットのデータを一部を活用しました。

現在、人材確保が一番の課題です。2020年卒、中途採用の方も合わせて募集中。詳しくは別紙「求人情報」、ホームページをご覧ください。

キングス・ガーデン東京ニュース第73号

発行日 2019年7月1日

発行 片山 信彦

編集 中島 真樹・平野 大

〒179-0085 東京都練馬区早宮2-10-22

社会福祉法人キングス・ガーデン東京